



教師のみなさんのための iPadスターターガイド



はじめに

このガイドは、教育委員会や学校が所有するiPadをはじめて使う
教師のみなさんのヒントとなるものです。すでに初期設定が終わった、
iPad(A16)を対象としています。

iPadは、あらゆる表現ができるパワフルさと、
どこにいてもつながれる自由さを備えたデバイスです。
色あざやかなディスプレイや、高品質なカメラ、画期的なアプリにより、
iPadは学びに必要などんなものにも変身します。

このガイドでは、学校現場でiPadを使い始めるのに
最適な項目を厳選して紹介します。
それでは、さっそく使ってみましょう。

目次

1. iPadを使い始める

iPadを起動する	5
指を使って操作する	6
インターネットに接続する	7
音量を調整する	8
文字を入力する	9

2. 教育に役立つアプリ

カメラで記録する	11
写真やビデオを活用する	12
写真やビデオをもっと活用する	13
ウェブを閲覧する	14
メモを取る	15
クイックメモを活用する	16
時間の管理をする	17
計算機を活用する	18

3. 自分らしく使う

よく使う機能にすばやくアクセス	20
画面を記録する	21
多様なインプットとアウトプット	22
アクセシビリティ機能を設定する	23
集中モードを使う	24

4. 情報を共有する

AirDropを使う	26
AirPlayを使う	27
写真を共有する	28
フォルダやファイルを共有する	29

5. iPadについてもっと知る

トラブルシューティング	31
iPadOSのアップデート	32
機能についてさらに詳しく	33
学びに役立つ無料のApple製アプリ	34
その他のサポート	35

※目次をタップするとページへ移動できます

1

iPadを使い始める

iPadをはじめて使うみなさんのための項目です。
基本的な操作を理解して、楽しく取り組みましょう。



iPadを起動する

iPadOSはiOSと同じ基盤をもとに設計されています。iPhoneをすでにお使いであれば、普段使う機能や内蔵アプリをiPadでも同じ感覚で操作できるため、新たに使い方を学ぶことなく使い始めることができます。そして、iPadはiPhoneなどのスマートフォンと同様に、使用後に電源をオフにする必要はありません。使っていない間は自動的にディスプレイがオフになるので、スリープを解除するところから始めましょう。

1. iPadのスリープを解除する

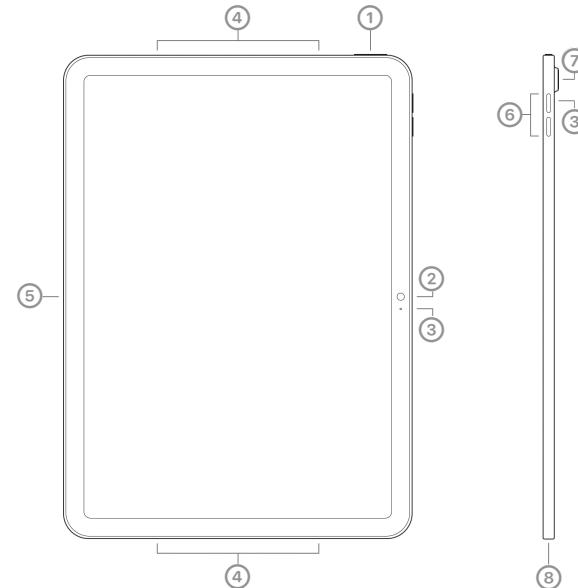
トップボタン①を押すかスク린をタップします。反応がない場合は、電源がオフになっている可能性があります。トップボタンをAppleロゴが表示されるまで押されたままにして、電源を入れましょう。それでも反応しない場合は、⑨に充電ケーブルを差し込みiPadを充電してください。

2. パスコードでiPadのロックを解除する

パスコードが設定されている場合、画面の下部から上にスワイプしてパスコードを入力します。iPadを使っていない間は、セキュリティのためにiPadはロックされ、スリープ状態になります。

3. Touch IDでiPadのロックを解除する

Touch IDが設定されている場合、登録した指を使ってトップボタン①を押します。再びiPadをロックするには、トップボタン①を押します。



① トップボタン/Touch IDセンサー

② 前面カメラ

③ マイク

④ スピーカー

⑤ Smart Connector

⑥ 音量ボタン

⑦ 背面カメラ

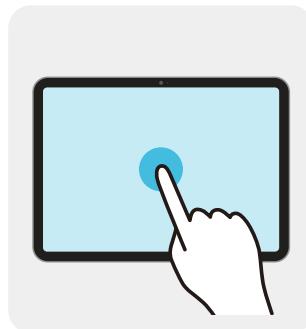
⑧ USB-Cコネクタ

*お使いのiPadによってはボタンの位置が異なったり、ご利用いただけない機能があります。

指を使って操作する

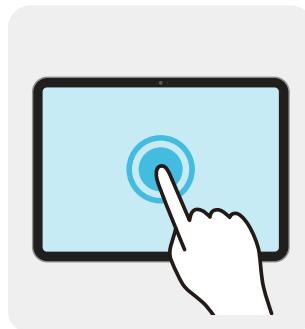
iPadは指だけで様々な操作ができます。画面を操作する方法はジェスチャと呼びます。

以下の5つのジェスチャを覚えておくだけで、基本的な機能を使いこなせます。



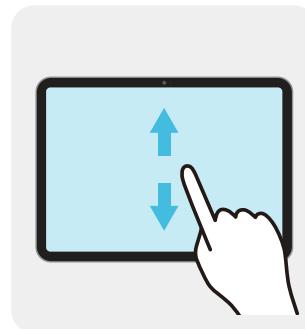
タップ

1つの指で画面を軽くタッチします。マウスでクリックするのと同様に、何かを選択する時に使います。2回タップすることを「ダブルタップ」と呼び、ダブルクリックと同様に、何かを決定する時に使う場合があります。



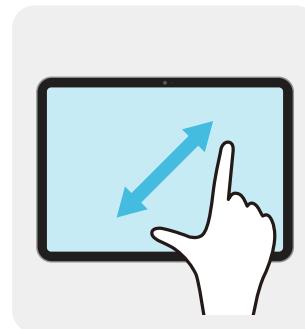
長押し

タッチして押されたままになります。例えば、アプリの項目を長押しすると、コンテンツをプレビューしたりクリックアクションを実行したりすることができます。



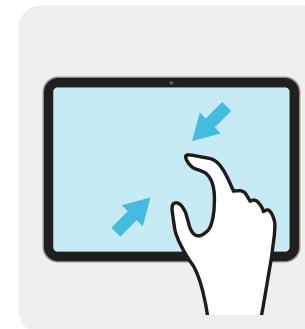
スワイプ

画面上で1つの指をすばやく移動します。そのまま指を離さずに上下に移動すると、画面をスクロールできます。



ピンチアウト

2つの指を画面の上に置き、指と指の間隔を広げると拡大します。



ピンチイン

2つの指を画面の上に置き、指と指の間隔を狭めると縮小します。

インターネットに接続する

インターネット環境がなくても、iPadで作業することはできますが、ウェブを閲覧したり、クラウド上のファイルにアクセスするには、iPadがWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。iPadが配布された際、すでに校内のWi-Fiに接続されていたとしても、自宅や校外でiPadを使う場合は、別のWi-Fiネットワークに接続し直しましょう。CellularモデルのiPadの場合も、OSアップデートの実行にはWi-Fiが必要な場合があります。

1. 設定から「Wi-Fi」を選択し、Wi-Fiをオンにする

ホーム画面で、「設定」 > 「Wi-Fi」の順に選択し、Wi-Fiをオンにします。iPadが利用可能なネットワークの検索を始めます。

2. 接続したいWi-Fiネットワークの名前をタップする

接続したいWi-Fiネットワークの名前をタップしたあとにパスワードを求められた場合は入力して、ネットワークに接続しましょう。ネットワークへの接続が完了すると、ネットワーク名の横に青いチェックマーク が表示され、画面上部にWi-Fi接続済みのアイコン が表示されます(右図参照)。一度設定すると、iPadは自動的にそのネットワークに再接続されます。



音量を調整する

iPadの音量を調整するにはいくつかの方法があります。

ここでは、一般的な3つの方法を紹介します。

1. 音量ボタンを使う

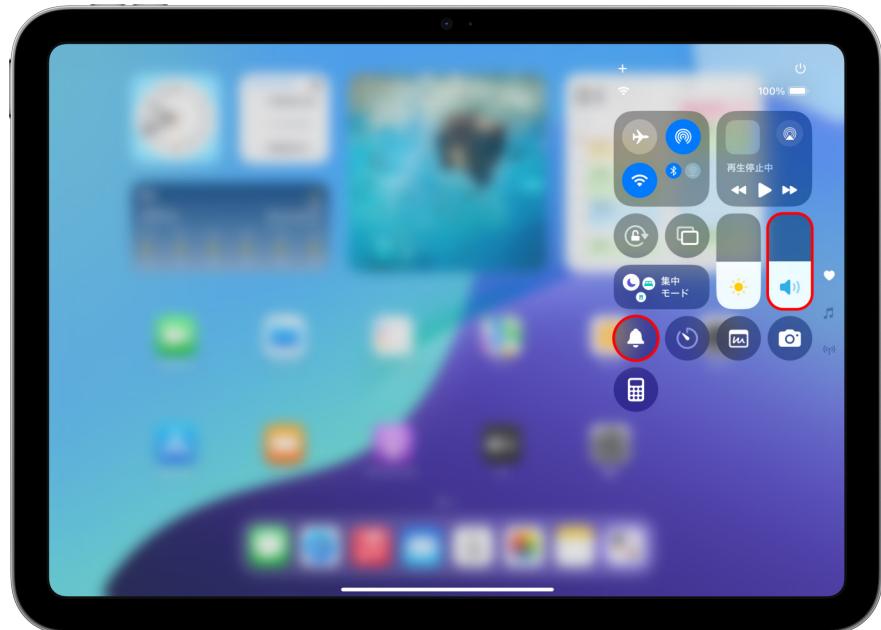
iPadの側面にある音量ボタン([5ページ参照](#))を使って、ビデオや音声メディアの再生、通知、およびアプリの効果音の音量を調整できます。音声再生中に調整したい場合に最も便利な方法です。

2. コントロールセンターを使う

画面の右上隅から下にスワイプして、コントロールセンターを開きます。を上下に動かして、音量を調整します(右図参照)。消音するには \blacksquare をタップします。再生前にあらかじめ音量を調整しておきたい場合や、設定を確認したい場合に便利です。

3. 外部キーボードを使う

外付けのキーボードがiPadに接続されている場合、やなどのキーを使って音量を調整できます。お使いのキーボードの種類により、キーの場所は異なります。



コントロールセンターから音量を調整できます。

文字を入力する

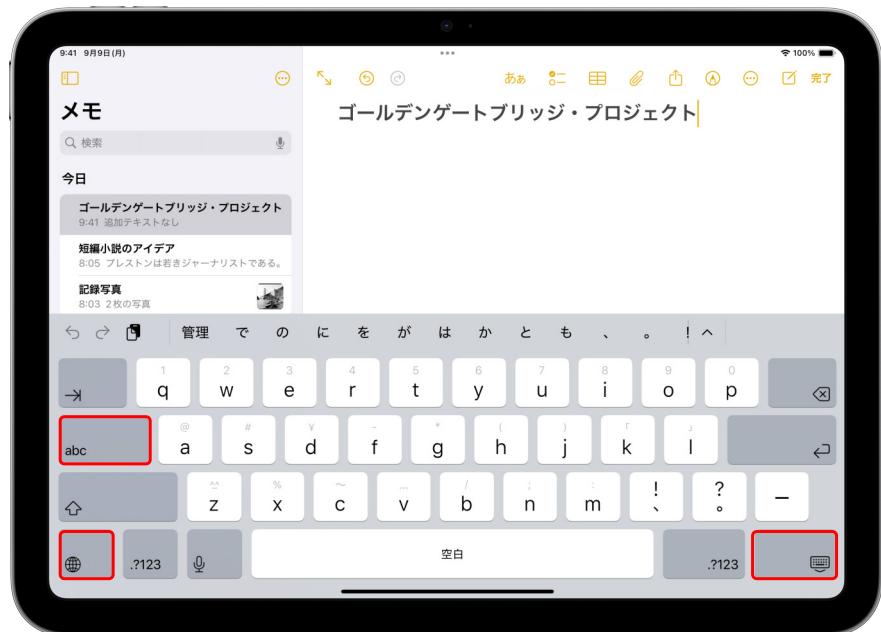
文字の入力にも、いくつかの方法があります。

1. オンスクリーンキーボードを使う

スマートフォンと同様に、画面上でタイピングをする場合は、文字を入力したいアプリを開き、テキストフィールドをタップすれば、自動的にオンスクリーンキーボード(ソフトウェアキーボード)が表示されます(右図参照)。

Ⓐを長押しすると、「設定」Ⓑで設定したキーボードに切り替えることができます。

- ・「日本語ローマ字」を選ぶと、一般的な外部キーボードと同じ配列でタイピングできます。左側の「abc」をタップすると英字入力に切り替わります。
- ・「日本語かな」を選ぶと、ひらがなののみでタイピングができるので、小学校低学年の生徒でも簡単に入力が行えます。
- ・オンスクリーンキーボードを非表示にするには、⌨️ をタップします。



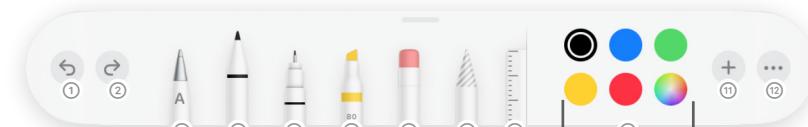
左の手順では、オンスクリーンキーボードの上記のキーを使います。

2. 外部キーボードを使う

外付けのキーボードをiPadに接続すれば、コンピュータと同じ感覚でタイピングをすることができます。

3. Apple Pencil*または指を使う

対応しているアプリでは、手書き入力も可能です。「メモ」📝の場合、Ⓐをタップしてマークアップツールバーを表示します。Apple Pencilを使う場合は、マークアップツールバーで、Ⓑ③をタップします。④-⑥のペンツールが指に反応しない場合、Ⓒ⑫から「指で描画」をオンにします。使用するアプリによって、利用できるペンの種類は異なります。



マークアップツールバー

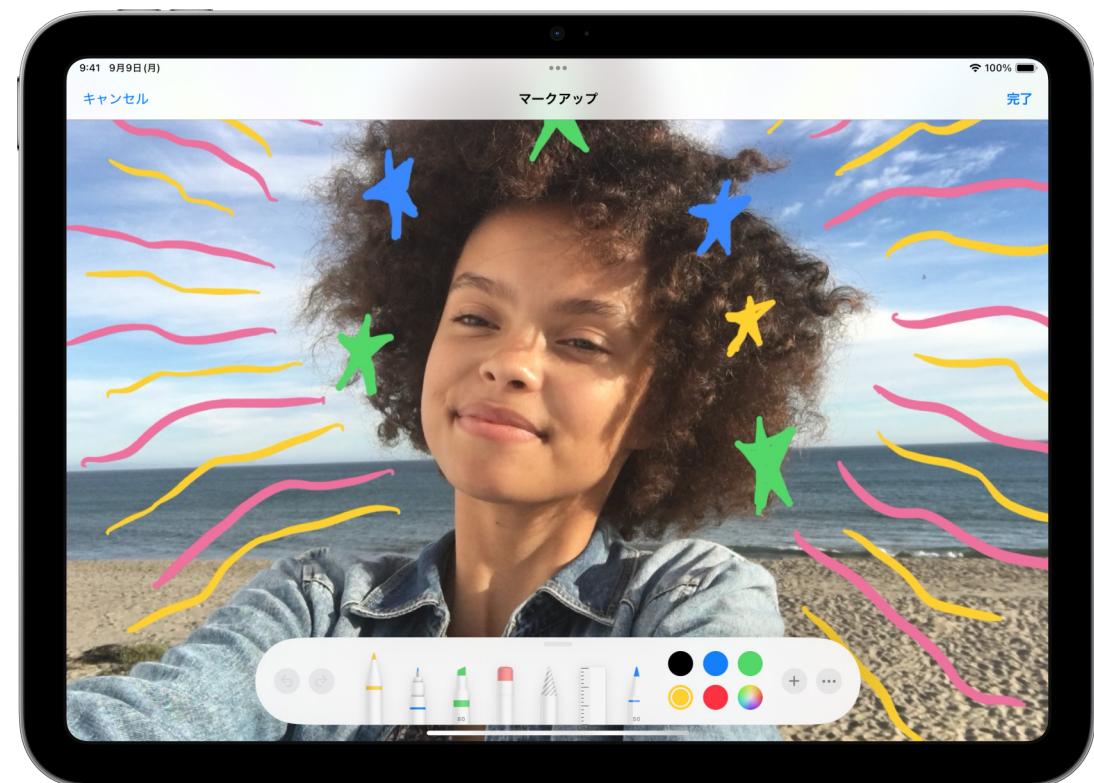
*iPad(A16)は、Apple Pencil(USBC-C)またはApple Pencil(第1世代)に対応しています。

Apple Pencil(第1世代)をiPad(A16)で使用するにはUSB-C - Apple Pencilアダプタが必要です。

2

教育に役立つ アプリ

まずはカメラ、写真、Safari、メモ、時計アプリを使ってみましょう。内蔵アプリなので、インストールする必要はありませんが、教育機関によっては、使用が許可されていない場合もあります。必要に応じて、IT管理者に相談しましょう。



カメラで記録する

iPadのカメラアプリを使って、身の回りのものや出来事を記録しましょう。

1. 写真を撮る

ホーム画面で「カメラ」をタップすると、標準モードの「写真」が表示されます。シャッターボタン、もしくはいずれかの音量ボタンを押すと写真が撮影されます。ズームを調整するには、画面左側の「1x」ボタンをタップするか、タッチして押されたまま上下に動かします。指2本でピンチイン・アウトして調整することもできます。ぼやけてしまう場合、画面上で被写体をタップすると、ピントを合わせられます。

2. カメラモードを切り替える

モードセレクタを上下にスワイプすると、以下のモードを選択することができます。

- ・タイムラプス：時間経過による変化をコマ送りでビデオ撮影（例：雲の動き）
- ・スロー：スローモーションのビデオを撮影（例：理科の実験）
- ・ビデオ：ビデオを撮影（例：英会話の練習）
- ・スクエア：正方形の写真を撮影（例：印刷用写真）
- ・パノラマ：景色やその他のシーンをパノラマ画角で撮影（例：集合写真）

3. バーストモードで撮影する

理科の実験や体育の実技など、動きがある場面の決定的瞬間を写真で記録したい場合は、バーストモードが便利です。シャッターボタンをタッチして押されたままにすると、高速連続撮影で写真を撮ることができ、指を離すと停止します。撮影した中から保存する写真を選択するには、シャッターボタンの下に表示されるサムネールをタップし、画面上部に表示される「選択」をタップします。おすすめの写真には灰色の点が表示されています。各写真を個別の写真として保存したい場合は、それぞれの右下隅にある円をタップしてから「完了」をタップします。



写真やビデオを活用する

写真アプリの編集機能を使って、写真やビデオにオリジナリティを加えてみましょう。変更の結果が気に入らない場合は、「元に戻す」をタップすれば、いつでも元に戻すことができます。

1. 写真やビデオを編集する

ホーム画面で「写真」をタップし、編集したい写真やビデオをタップします。

画面中央下のをタップすると、以下の編集が行えるようになります。

- ⌚ (光と色の調整) : 画面の右側にある露出(全体の明るさを調整)、ブリリアンス(明るい部分と暗い部分のバランスを調整)、ハイライト(明るい部分を調整)、シャドウ(暗い部分を調整)などのエフェクトをタップし、スライダを使って精密に調整できます。一番上の⌚をタップすると、自動で最適な状態に編集されます。
- ヰ (トリミング、回転、反転) : 画面左側のヰをタップし、四角形のコーナーを動かして、写真の残したい領域を囲みます。画面左上の■をタップすると、写真が90度回転します。▲をタップすると左右が反転します。右側のスライダを動かすと、傾きが補正されます(右図参照)。

編集が終わったら、右上の✓をタップして保存します。編集をキャンセルする場合は左上の✗をタップし変更内容を破棄を選択します。



写真をトリミングするには、左側一番下のアイコンをタップします。

2. 写真に文字や図形を書く

「編集」画面で①をタップします。ペンの種類や色を選び、写真に注釆を付けます。

②をタップすると、ステッカーや、タイプした文字、図形を写真に追加することができます。「完了」をタップして保存します。

3. ビデオの長さをトリミングする

「編集」をタップします。画面下にフレームビューアが表示されたら、いずれかの端を指で動かして長さを調整し、✓をタップします。トリミングしたビデオのみ保存する場合は「ビデオを保存」、元のビデオも残したままにする場合は「ビデオを新規クリップとして保存」をタップします。新規クリップとして保存したビデオは、元に戻すことはできません。

写真やビデオをもっと活用する

第8世代*以降のiPadでは、写真やビデオの中に含まれる情報を様々な用途に活用できる画像認識機能を使うことができます。

1. 画像内のテキストを利用する

画像内のテキストを利用するには、次のいずれかから行えます。

- ・「写真」で、テキストを含む写真を表示するか、ビデオを一時停止します。
- ・「カメラ」の写真モードで、テキストを含む被写体を画面内に収めます。

右下のをタップすると、画像内のテキストを選択して必要な部分をコピーしたり、ウェブで検索したりできるようになります(右図参照)。テキストの内容によっては、画面左下に現れるクリックアクションのメニューから、ワンタップでウェブサイトに移動したり、マップアプリで経路を表示したり、外国語を日本語に翻訳したりできます。

2. 写真に写っているものを調べる

写真やビデオ内の植物や動物、ランドマーク、絵画などを特定し、それらの情報を調べることができます。写真を表示し、上にスワイプするかをタップし、「情報」の中に表示されるアイコンをタップすると、被写体に関する詳しい情報が表示されます。

3. 被写体を背景から抜き出す

写真を表示するか、ビデオを一時停止し、被写体をタッチして少しの間押されたままにします。被写体に白い輪郭とメニューが表示されるので、いずれかの操作を選択します。

- ・「コピー」をタップして、「メモ」などのアプリにペーストします。
- ・「共有...」をタップして、AirDropや「メモ」などの共有オプションを選択します。
- ・被写体をタッチしたまま、ほかのアプリにドラッグ&ドロップします。

*iPadのモデルは「設定」 >「一般」>「情報」>「機種名」で確認できます。



右下のをタップすると、画像内のテキストを認識し、利用することができます。

ウェブを閲覧する

Safariを使って、ウェブ上の教材にアクセスしたり、検索して情報を入手しながら、生徒たちにパフォーマンス課題に取り組んでもらいましょう。

1. ウェブを検索する

ホーム画面で「Safari」をタップし、検索フィールドをタップします。キーワード、またはURLを入力します。検索候補をタップするか、キーボード上の「」をタップして結果を確認します。

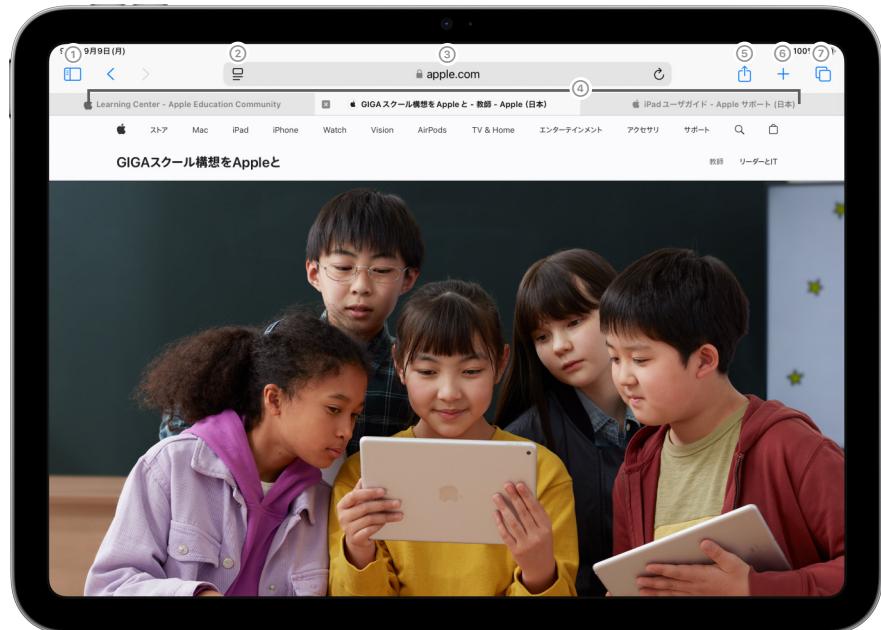
2. ウェブページを操作する

閲覧中にページの一番上まですばやく戻るには、画面の上端をダブルタップします。また、最新の情報が表示されるよう更新するには、ページの上部から下に引きます。

3. よく使うページにすばやくアクセスする

該当ページからをタップすると、いくつかの選択肢が表示されます。

- ・リーディングリストに追加：インターネットに接続されていない時でも、追加したページにアクセスできます。あとでそのページにアクセスするには、左上のをタップしてから、「リーディングリスト」をタップします。非表示にするにはをもう一度タップします。
- ・ブックマークに追加：フォルダごとに整理できるので、教科や学年別にコンテンツをまとめておけます。あとでそのページにアクセスするには、左上のをタップしてから、「ブックマーク」をタップします。
- ・お気に入りに追加：検索フィールドをタップするだけで、お気に入りに追加したページが表示されるので、あとで簡単にそのページにアクセスできるようになります。



Safariの各機能について：

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ① ブックマーク、
リーディングリスト表示 | ⑤ お気に入り、ブックマーク、
リーディングリストに追加 |
| ② 表示コントロール | ⑥ 新規タブ |
| ③ 検索フィールド | ⑦ タブ一覧 |
| ④ 開いているタブ | |

メモを取る

メモアプリを使うと、思いついたことを書きとめるだけでなく、チェックリストや画像、ウェブリンク、スキャンした書類、手書きのメモ、スケッチなどを使って、デジタルならではの方法で情報を整理することができます。

1. メモを作成する

ホーム画面で「メモ」をタップし、をタップしてメモを作成します。メモの1行目が自動的にタイトルになります。書式設定を変更するには、ツールバーの中央にある「ああ」をタップします。

2. 画像やビデオを追加する

写真やビデオを追加するには、をタップし(右図参照)、フォトライブラリから「写真またはビデオを選択」するか、新しい写真またはビデオを撮影します。紙の資料を追加するには、「書類をスキャン」をタップし、iPadの画面に資料が収まるように位置を合わせると、自動的にページが取り込まれます。「保存」をタップし、スキャンされた資料をタップすると、トリミングや向きの変更などの編集ができます。

3. 別のアプリ上の情報を追加する

「マップ」に表示されている場所、「Safari」で閲覧中のウェブページ、「ファイル」に保存したPDFやスクリーンショットなど、別のアプリで作業していた内容もメモに添付できます。これを行うには、アプリで共有したい項目(例えば位置情報やウェブページ)を開きます。をタップしてから、「メモ」をタップします。共有した項目は新規メモに保存するか、既存のメモを選択して保存します。

4. スケッチや手書き文字を追加する

をタップし、Apple Pencilもしくは指で書き込みます(9ページ参照)。メモだけでなく、保存しているPDF上にも追加できます。数式をタイプ入力または手書きで記述すると、瞬時に数式の答えが表示されます。



をタップすると、画像やビデオを追加できます。

クリックメモを活用する

ウェブ閲覧中やリモート会議の最中にメモを取りたくなった時など、iPad上の任意のアプリ画面を確認しながら情報をすばやく書きとめるにはクリックメモが便利です。

1. クリックメモを作成する

クリックメモの作成を始めるには、次のいずれかを行います。

- ・指またはApple Pencilでディスプレイの右下隅を下端から上にスワイプします。
- ・「Safari」で右上のをタップしてから、「クリックメモに追加」をタップすると、自動的にURLがクリックメモにクリップされます。
- ・「Safari」でメモに残したい文章を長押しとドラッグで選択し、「新規クリックメモ」をタップすると、選択したテキストとともにURLがクリックメモに追加されます。
- ・コントロールセンターを開いて、をタップします。

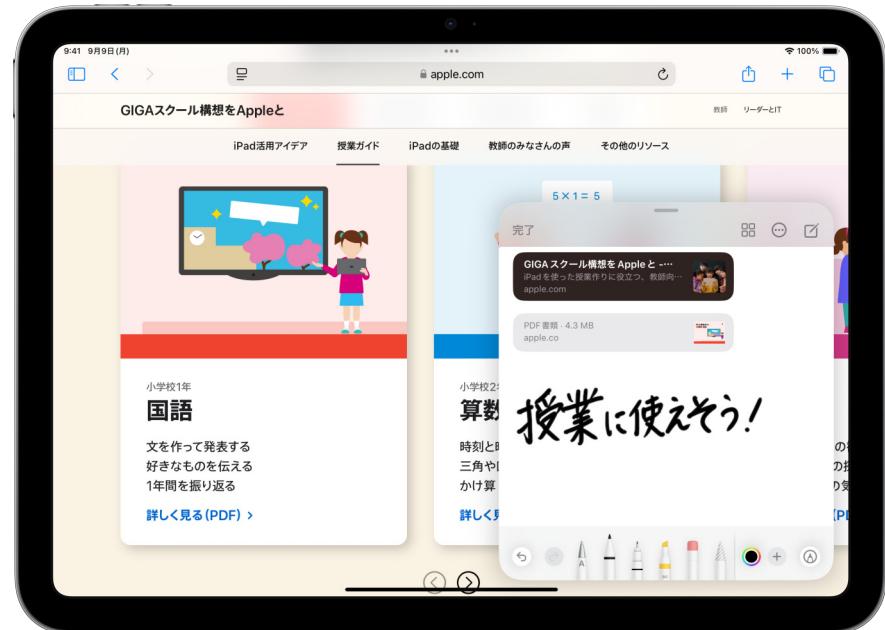
2. クリックメモを終了する

クリックメモを終了するには、次のいずれかを行います。

- ・クリックメモの左上に表示されている「完了」をタップします。再びクリックメモを表示するには、指またはApple Pencilでディスプレイの右下隅を下端から上にスワイプします。
- ・クリックメモを画面の外側に向けてドラッグします。画面右端に表示されるグレーのタブをタップすると、再びクリックメモが表示されます。

3. クリックメモを整理する

「メモ」のフォルダリストで「クリックメモ」をタップすると、すべてのクリックメモを表示することができます。
クリックメモを個別に別のフォルダに移動すると、通常のメモになり、ほかのアプリでクリックメモとして表示されなくなります。



クリックメモは、使用中のアプリの上に重ねて使うことができます。

時間の管理をする

時計アプリを使って、授業をスムーズに進めましょう。計測中にはほかのアプリを使う場合は、画面上の…をタップし、中央または左右の中から表示方法を選ぶと、ホーム画面が表示されます。iPadがスリープ状態になっても、計測は継続されます。

1. タイマーを設定する

ホーム画面で「時計」をタップし、「タイマー」をタップします。時間の長さと、タイマー終了時のサウンドを設定します。「開始」をタップすると、カウントダウンが始まり、時間の経過を数字と円で視覚的に確認できます(右図参照)。Siriが設定されている場合、「Hey Siri、タイマーを10分でセットして」とiPadに話しかけるだけで、ホーム画面上でカウントダウンが始まります。

2. ストップウォッチで時間を測る

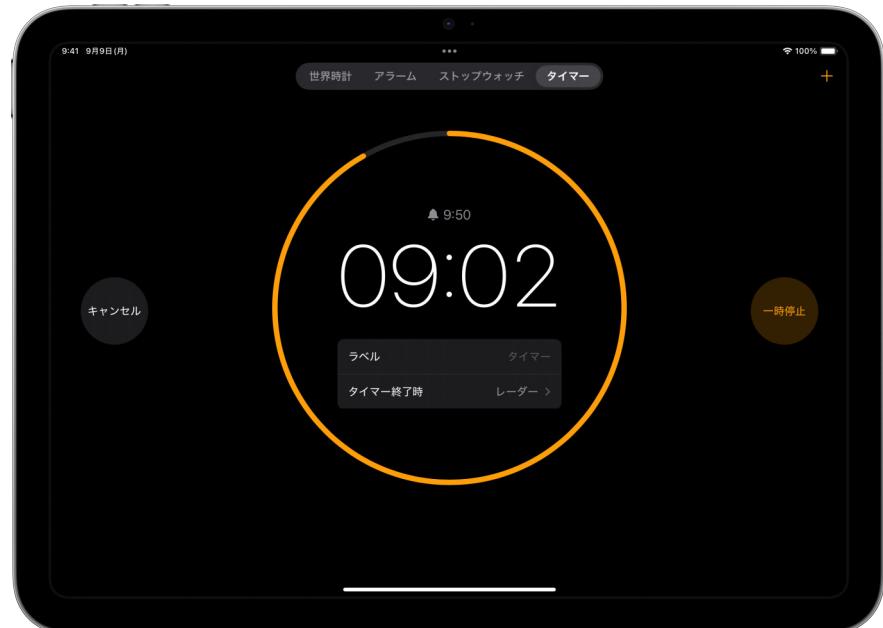
「ストップウォッチ」をタップします。iPadを縦向きにすると、ストップウォッチを左右にスワイプしてデジタル表示とアナログ表示を切り替えることができます。「開始」をタップして時間の計測を始めましょう。ラップまたはスプリットを記録する時は、「ラップ」をタップします。最終タイムを記録するには、「停止」をタップします。リセットするには、「リセット」をタップします。

3. アラームをセットする

チャイムや目覚ましのように時間を定期的に管理するには、「アラーム」をタップして、をタップします。時刻を設定してから、次のいずれかのオプションを選択します。

- ・繰り返し：決まった曜日に繰り返し実行されるようにします。
- ・ラベル：アラームに名前（「教室へ移動」など）を付けます。
- ・サウンド：曲または着信音を選択します。
- ・スヌーズ：一旦止めても鳴り出すよう設定します。

設定したアラームを追加するには、「保存」をタップします。
アラームを変更または削除するには、「編集」をタップして設定します。



時間の経過を数字と円で視覚的に確認できます。

計算機を活用する

計算機アプリには、基本的な計算や、関数を使った科学計算、様々な単位や通貨を変換できる換算機能のほか、手書きのメモから数式を解いたり、方程式をグラフ化したりする機能が備わっています。教材作成や事務作業を効率化するのに役立てましょう。

1. モードを切り替える

ホーム画面で「計算機」をタップして開くと、すぐに基本計算が始まられます。ほかのモードに切り替えるには、左下のをタップして「科学計算」、「計算メモ」を選択するか、「換算」をオンにします。基本計算の画面に戻るには、再度をタップし、「基本」を選択します。をタップするとサイドバーに以前計算した履歴が表示されます。

2. 手書きや入力したメモを計算する

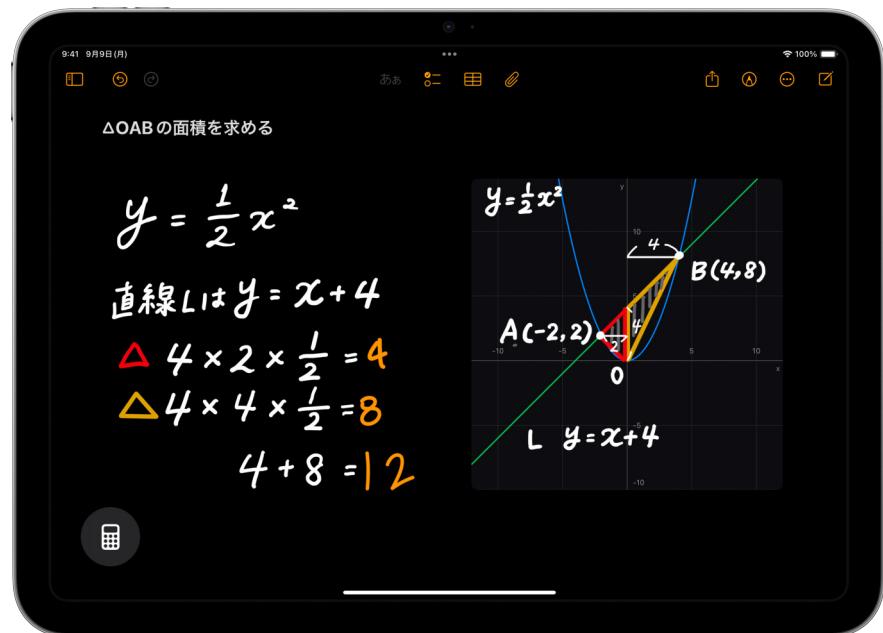
手書きやタイプ入力した計算式から瞬時に結果を表示させることができます。をタップして「計算メモ」を選択し、をタップし手書きするか、キーボードから計算式を入力します。 x と y などの変数を2個使って、方程式を手書きするか入力すると、グラフを挿入することもできます。基本計算の画面に戻るには、再度をタップし、「基本」を選択します。

3. 単位や通貨を換算する

をタップして、「換算」をオンにします。をタップして通貨を選択するか、リストの上部のカテゴリをスワイプして、速度や時間、重さなどほかの単位を選択します。上下どちらかのフィールドに値を入力すると、瞬時に換算結果が表示されます。計算メモを使って換算するには、「50mをフィート=」のように書くか入力します。

*計算機アプリを使うには、iPadOS 18へのアップグレードが必要です。

機能についてさらに詳しく知りたい方は[こちら](#)を参照してください。

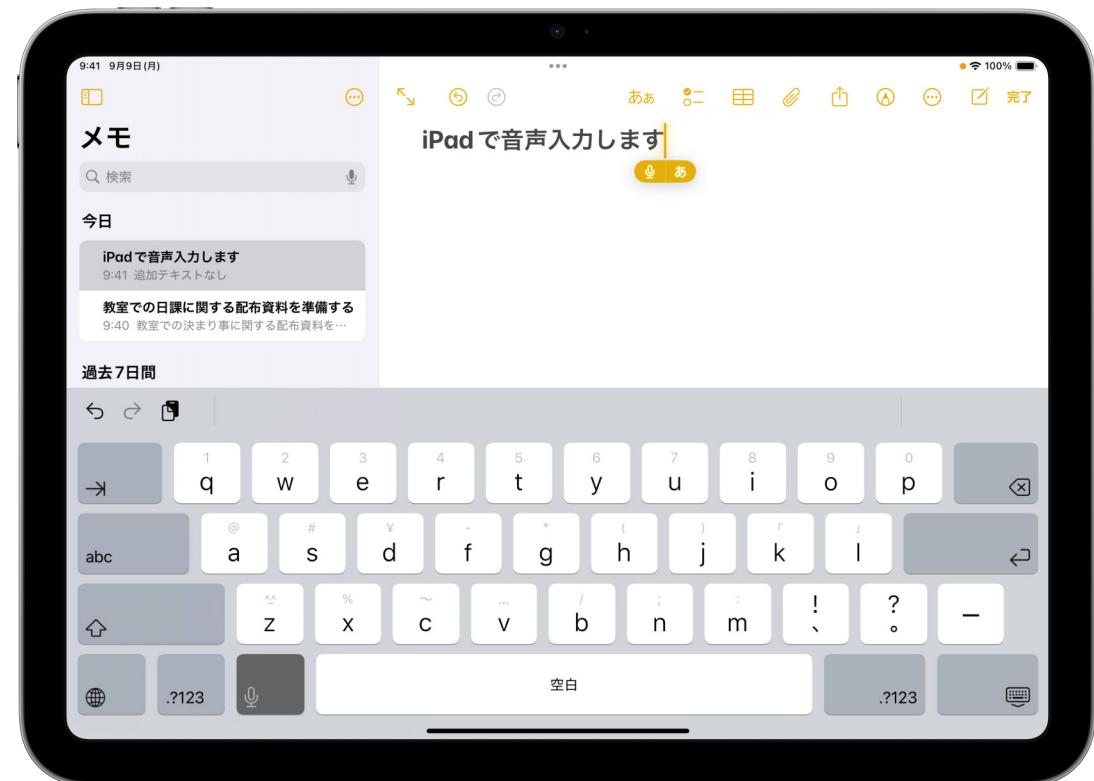


手書きや入力した方程式からグラフを作成できます。

3

自分らしく使う

iPadは様々な形にパーソナライズすることができます。みなさんが最も使いやすい設定に変更し、個別最適なツールに進化させましょう。作業効率が高まり、クリエイティブな活動に集中できるようになります。



よく使う機能にすばやくアクセス

コントロールセンターを使うと、どの画面からでもiPadの便利な機能や設定にすぐにアクセスできます。

1. コントロールセンターを開く

画面の右上隅から下にスワイプします。該当箇所をタップして、設定を確認、変更します。閉じるには、余白をタップします。

2. 追加オプションにアクセスする

多くのコントロールに追加オプションが用意されています。表示するには、コントロールをタッチして押されたままにします。コントロールセンターでは、例えば、以下のようなことができます。

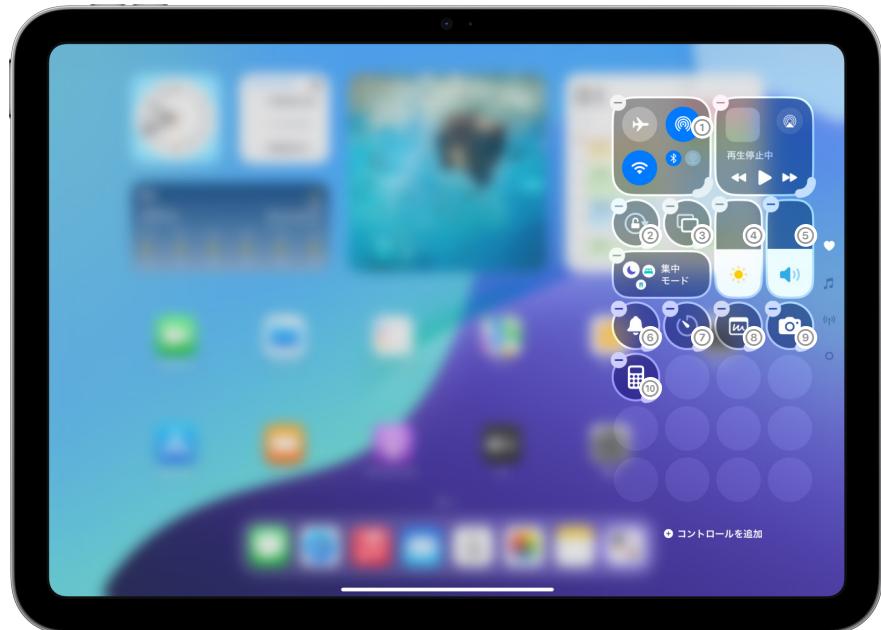
- ・◎を長押しし、ポップアップから◎をタップすると、AirDropの送信先を変更できます(26ページ参照)。
- ・□を長押しすると、セルフィーやビデオ撮影にも簡単にアクセスできます。
- ・○を長押しすると、マイクをオンにすることができ、口頭での説明と一緒に画面を収録できます。

3. コントロールを追加する

コントロールを追加するには、コントロールセンターの余白を長押しします(右図参照)。「+コントロールを追加」をタップして追加したいコントロールを選択します。削除するには●をタップします。例えば、以下のようなコントロールを追加できます。

- ・画面収録
- ・テキストサイズ
- ・アクセシビリティのショートカット
- ・ストップウォッチ
- ・ダークモード
- ・ボイスメモ
- ・メモ

コントロールを並び替える時は、アイコンを長押ししたまま、新しい位置に移動させます。



コントロールセンターの各機能について：

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ① Wi-Fi、AirDrop、
Bluetoothの設定 | ⑥ 消音モード |
| ② iPadの向きを固定 | ⑦ タイマー |
| ③ AirPlay | ⑧ クイックメモ |
| ④ 画面の明るさ | ⑨ カメラ |
| ⑤ 音量 | ⑩ 計算機 |

画面を記録する

画面に表示されている内容をそのまま写真に撮ったり、画面上の動きをビデオに録画しておくと、簡単に解説ビデオを作成したり、生徒たちに問題解決の過程を記録してもらうことができます。

1. スクリーンショットを撮る

トップボタンと音量ボタンを同時に押して撮影したら、画面の左下隅に表示されるサムネールをタップします。必要に応じて一部のみを切り取り、「完了」をタップして「写真」に保存」「ファイル」に保存」「クイックメモに保存」、または削除のオプションを選択します。「写真」に保存を選択すると、「写真」の「スクリーンショット」アルバムまたはライブラリの「すべての写真」で見ることができます。指またはApple Pencilでディスプレイの左下隅から上にスワイプしてスクリーンショットを撮ることもできます。

2. フルページのスクリーンショットをPDFとして保存する

ウェブページ、書類、またはメールがiPadの画面より長く、スクロールしないと全体を閲覧できない場合でも、フルページスクリーンショットを撮って、PDFとして保存することができます。これを行うには、トップボタンとホームボタンを同時に押してスクリーンショットを撮影し、左下隅に表示されるサムネールをタップしてから「フルページ」をタップします(右図参照)。次に「完了」をタップして、「PDFを“ファイル”に保存」を選択し、保存場所を選択してから、「保存」をタップします。

3. 画面を収録する

画面をビデオ録画するには、コントロールセンターを開いて、をタップすると、3秒間のカウントダウンのあとに録画が始まります。を長押しし、をタップすると、マイクオンの状態になり、画面を収録している間の外部の音声を収録することができます。録画を停止するには、コントロールセンターを開き、をタップするか、画面の一番上有る赤いステータスバーをタップし、「停止」をタップします。ビデオも「写真」のライブラリに保存されるので、いつでも編集やトリミングができます。



フルページスクリーンショットを撮って、PDFとして保存することができます。

多様なインプットとアウトプット

iPadを使って、これまで時間がかかっていた作業を効率化しましょう。

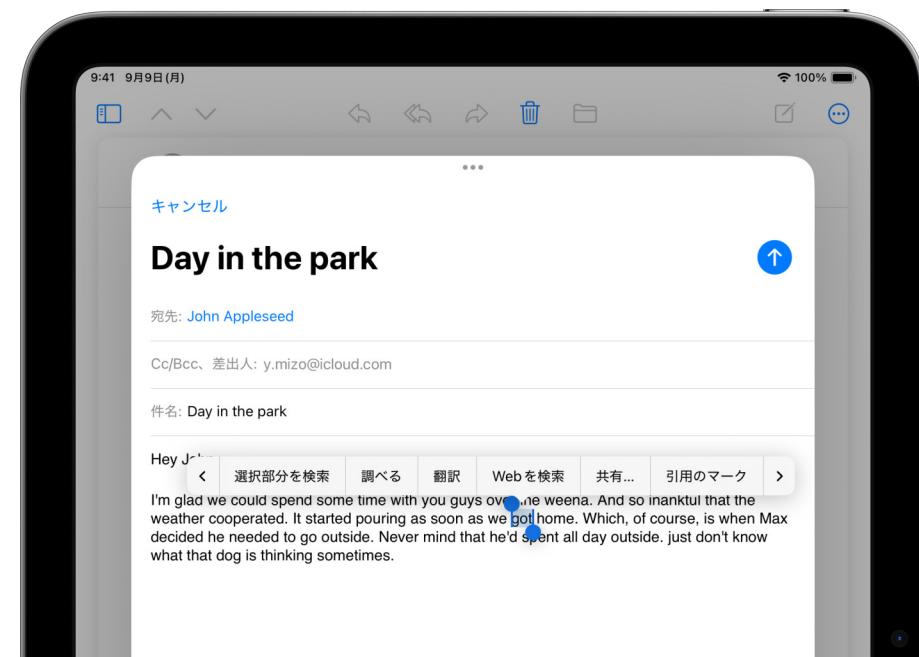
1. 音声入力を使う

タイプ入力が可能な領域は、すべて音声でも文字入力ができます。立ったままiPadを操作している時や、書くことが苦手な生徒の支援にも最適です。音声入力を有効にするには、「設定」⇒「一般」⇒「キーボード」の順に選択し、「音声入力を有効にする」をオンにします。その後は入力時(9ページ参照)にオンスクリーンキーボードの♀をタップしてから話すと、文字として認識されます。英語で入力すれば、スピーキングの練習にもなります。

2. 翻訳機能を使う

iPadOSには翻訳機能が内蔵されています。海外の学校と交流したり、外国籍の生徒や保護者とコミュニケーションを取ったり、英語の情報を日本語に翻訳するのも簡単です。翻訳機能には様々な方法でアクセスできます。

- ・テキストの選択：翻訳したい単語や文を長押しします。表示されたオプションの中から、「翻訳」をタップします(右図参照)。
- ・Safari(14ページ参照)：ウェブ上の情報を英語や日本語に翻訳するには、検索フィールド左の「≡」をタップし「日本語に翻訳」をタップします。
- ・翻訳アプリ：ホーム画面で「翻訳」をタップしてアプリを起動します。2つの言語の横にある矢印△をタップして、翻訳元の言語と翻訳先の言語を選択します。どちらかの言語をタップすると、テキスト入力フィールドにカーソルが移動するので、語句を入力してから□をタップして、翻訳結果を表示します。音声入力を使うには、♀をタップしてからフレーズを話します。音声入力を使って双方向にやり取りする場合は、画面左の「会話」モードを選択します。言語をダウンロードしておけば、インターネットに接続しなくともデバイス上だけで翻訳を完了できます。



テキスト入力中に、ダブルタップして選択するとオプションが表示されます。

アクセシビリティ機能を設定する

iPadは、視覚、身体や動作、聴覚、および学習上のニーズに配慮して、多くのアクセシビリティ機能を搭載しています。よく使われている主な機能のオン／オフの切り替え方を紹介します。

1. アクセシビリティ機能をオンにする

「設定」⇒「アクセシビリティ」の順に選択すると、様々なアクセシビリティ機能にアクセスできます。

画面サイズとテキストサイズ：文字が見づらい場合、「さらに大きな文字」や「反転（スマート）」といった機能で画面設定をカスタマイズし、画面を見やすくすることができます。この機能を使うには、「設定」⇒「アクセシビリティ」⇒「画面表示とテキストサイズ」と選択して、それぞれのニーズに合った機能を選択します。

AssistiveTouch：指で細かい操作をするのが難しい場合や、よく使う機能をすぐに呼び出したい場合、「AssistiveTouch」を使ってジェスチャをカスタマイズしたり、iPadのポインタとして使用したりできます。この機能を使うには、「設定」⇒「アクセシビリティ」⇒「タッチ」⇒「AssistiveTouch」と選択します。まずは「最上位メニューをカスタマイズ」を試してみましょう。



様々なアクセシビリティ機能の中から、それに役立つものを選んで設定できます。

2. アクセシビリティのショートカットを設定する

アクセシビリティのショートカットを使うと、トップボタンをトリプルクリックすることで、アクセシビリティ機能のオン／オフをすばやく切り替えることができます。

- ・ショートカットを設定する：「設定」⇒「アクセシビリティ」⇒「ショートカット」と選択して、よく使う機能を選択します。VoiceOverをトリプルクリックでオフにできるよう、ショートカットにVoiceOverを設定しておくと便利です。
- ・ショートカットを使用する：トップボタンをトリプルクリックします。

集中モードを使う

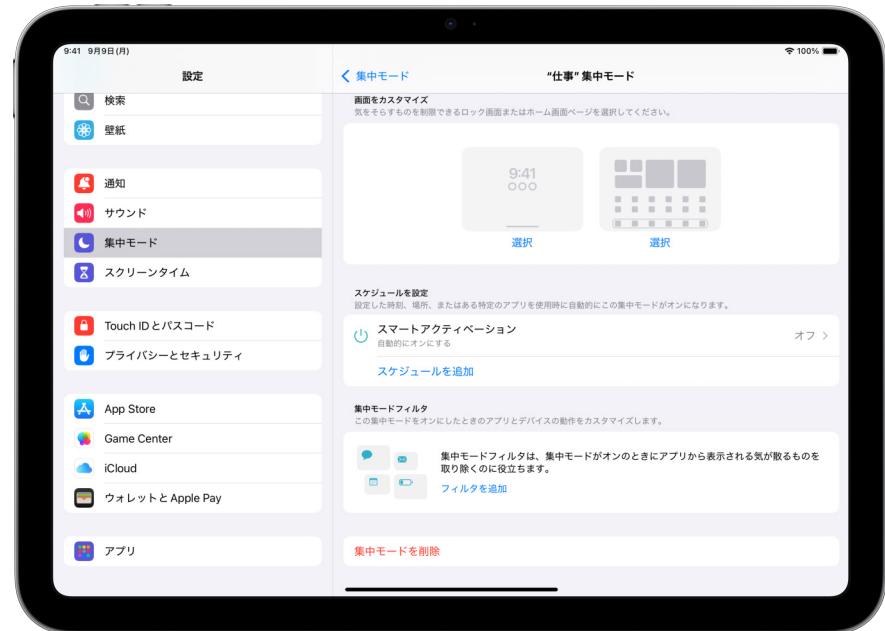
集中モードは、気を散らすものをできるだけ減らして作業に集中できるようにする機能です。通知をオフにしたり、作業に関連するものだけが表示されるホーム画面を設定したりできるので、iPadを授業や生徒の自宅学習に活用する場合に便利です。

1. 集中モードを設定する

「設定」 > 「集中モード」から「仕事」などの利用したいモードを選択するか、をタップしてモードを追加します。集中モードを使っている間も通知を受け取りたいアプリがあれば、「アプリ」をタップして選択します。必要に応じて「スケジュールを設定」セクションの「スケジュールを追加」から、条件に合わせて集中モードがオンになるように設定することもできます。便利な使い方をいくつか紹介します。

- ・「時刻」を設定して、授業時間中のみオンになるようにする。
- ・「場所」を設定して、学校にいる間のみオンになるようにする（位置情報がオンになっている必要があります）。
- ・「アプリ」を設定して、大きな画面に投影することの多いアプリを開いた時のみオンになるようにする。
- ・「スマートアクティベーション」を有効にして、1日の中の適切なタイミングでオンになるようにする。

設定を削除するには、各モードの設定画面の下にある「集中モードを削除」をタップします。



スケジュールを追加すれば、条件に合わせて自動で集中モードをオンにすることができます。

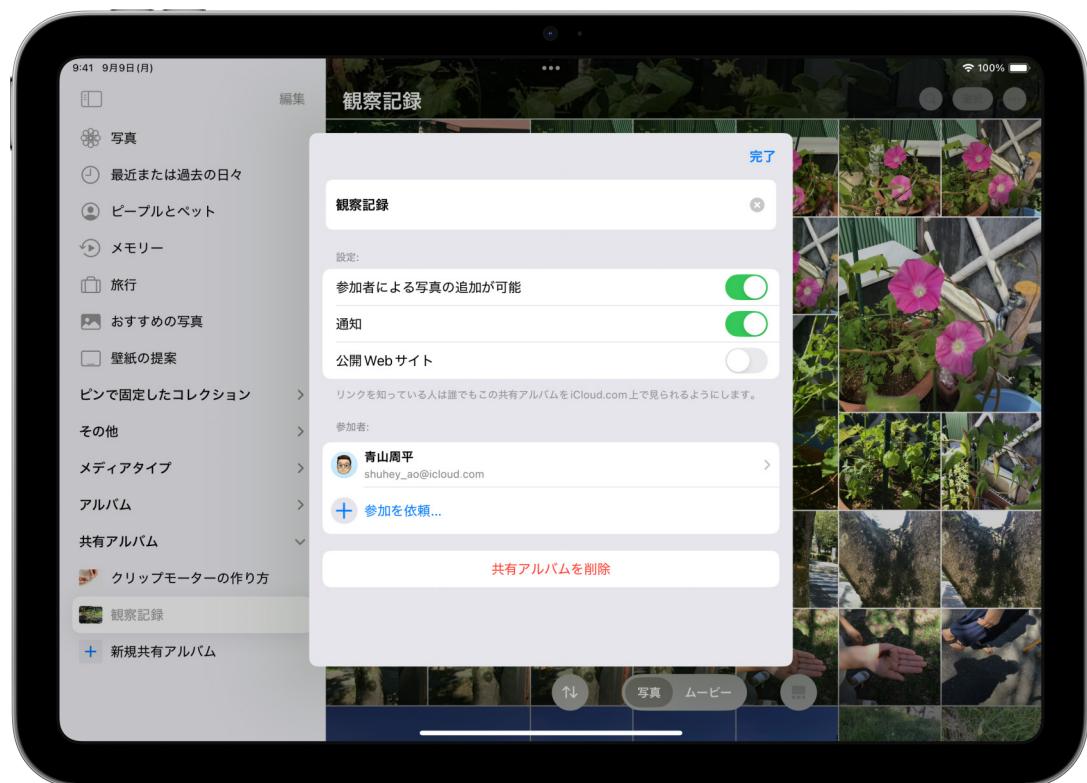
2. 集中モードを任意のタイミングでオンにする

スケジュールを設定しない場合は、コントロールセンター（[20ページ](#)参照）から「集中モード」をタップして手動でオンにします。「集中モード」を長押しすると、オンにしたいモードを複数の中から選ぶことができます。右横の…をタップすると、「1時間」や「この場所から出発するまで」など、終了するタイミングを選択できます。

4

情報を共有する

iPadを使うと様々な方法で、簡単かつ安全にデータやファイルを共有できます。同僚と教材を共有したり、生徒間でファイルをやり取りしたりして、共同作業の効率を高めましょう。



AirDropを使う

AirDropは、近くにあるAppleデバイス間での情報共有に便利な機能です。写真、ビデオ、ウェブサイト、場所などをワイヤレスで送信できるので、生徒間のファイル共有や、教師のみなさんがiPadからだけではなく、お使いのMacやiPhoneからiPadに資料を転送するのにも最適です。

1. Wi-FiとBluetoothをオンにする

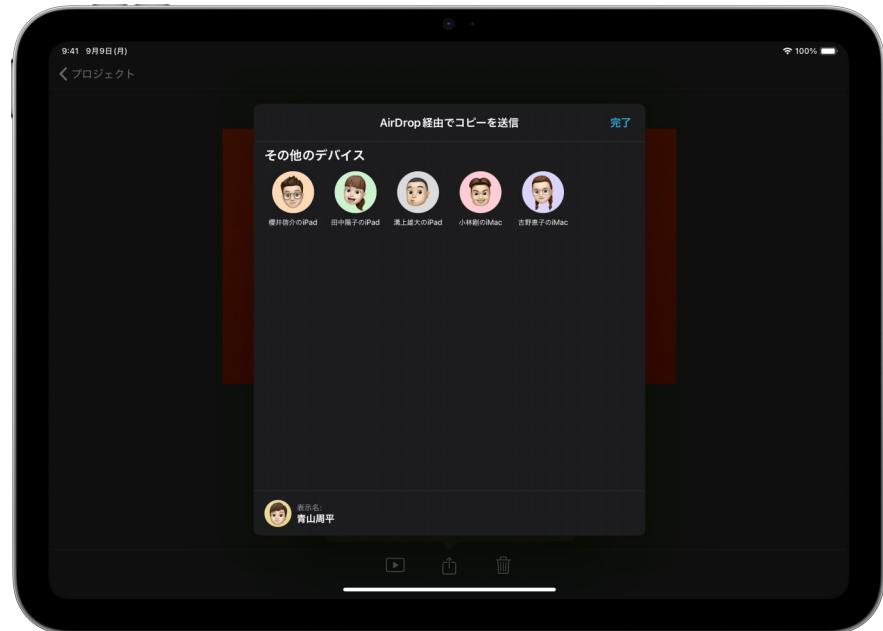
ホーム画面で、「設定」 >「Wi-Fi」の順にタップし、受信側、送信側ともにWi-Fiがオンになっているか確認します。同じように「Bluetooth」もタップし、オンにします。

2. 項目を送信することをほかの人に許可する

受信側は、コントロールセンターを開き、左上のコントロールグループをタッチして押されたままにしてから、をタップし、「すべての人」を選択します。受け取ったリクエストごとに、受け入れるか拒否するかを選択できます。送信側のAirDrop画面に表示されるiPadの名前は、「設定」 >「一般」>「情報」>「名前」で確認できます。

3. 項目を送信する

送信側は、共有したいコンテンツを開きます。例えば、写真やビデオ、スクリーンショットなら「写真」、ウェブリンクなら「Safari」、PDFなら「ブック」や「ファイル」にアクセスします。をタップし、をタップすると、付近のAirDropユーザーが表示されます(右図参照)。が表示されない場合は、教育機関側でAirDropの機能を無効にしている可能性があります。付近のユーザーが表示されない場合は、送信先のユーザーに2の作業をしてもらう必要があります。



受信側がAirDropの設定を「すべての人」にしていれば、送信側のiPadにユーザーが表示されます。

AirPlayを使う

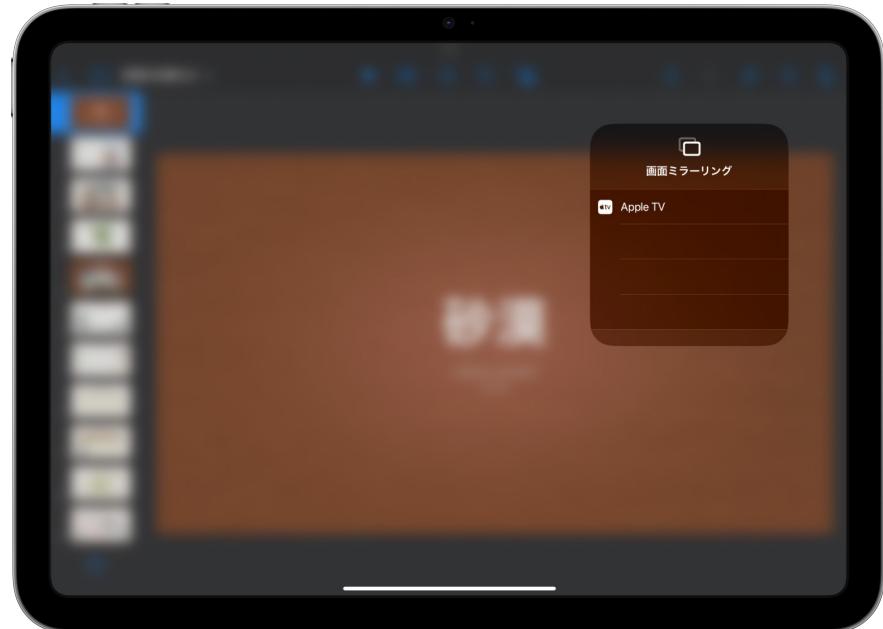
AirPlayは個人のデバイスの画面を大画面に表示するのに便利な機能です。教室にApple TVが導入されている場合は、iPadを含むApple製デバイスの画面をプロジェクタや外部ディスプレイにワイヤレスで表示して、教室のどこからでも必要な情報をクラス全員に共有することができます。

1. 自分のデバイスの画面を共有する

コントロールセンターを開きます。□をタップしてから、出力先のApple TVを選択します(右図参照)。画面にAirPlayパスコードが表示される場合は、パスコードを入力します。戻すには、コントロールセンターを再度開き、□をタップしてから「ミラーリングを停止」をタップします。

2. 生徒のデバイスの画面を共有する

生徒のiPadからコントロールセンターを開いても、**1**の作業ができない場合、AirPlay中のデバイス上でミラーリングを一旦停止し、生徒側で再度**1**の作業を行ってもらいます。「クラスルーム」▣を使っていている場合は、教師用デバイスから生徒のiPadでAirPlayを有効にすることも可能です。「クラスルーム」▣をタップし、サイドバーからクラスを選択しましょう。生徒を選択すると、「アクション」ウインドウが表示されるので、「AirPlay」ボタン▣をタップします。



出力先のApple TVをタップします。

写真を共有する

写真アプリの共有アルバム機能を使うと、写真やビデオを特定の人とだけ共有できます。生徒や同僚とアルバムを共有することで、相手も自分の写真やビデオを追加したり、コメントを付けたりできるため、校外学習や修学旅行など、学校行事の写真や、授業の振り返りなどに活用できます。共有アルバム機能を使うには、教育機関側で共有とiCloudの使用が許可されている必要があります。

1. 共有アルバムをオンにする

「設定」>「[自分の名前もしくはID]」>「iCloud」>「写真」の順に選択して、「共有アルバム」をオンにします(右図参照)。

2. 新しい共有アルバムを作成する

「写真」をタップし、画面の左端からスワイプするか□をタップして、サイドバーを表示します。「共有アルバム」の下で「新規共有アルバム」をタップし、アルバムに名前を付けてから、「参加を依頼...」をタップして招待したい人を追加し、「完了」をタップします。アルバム作成後に参加者を追加するには、右上の●をタップして「共有アルバムの詳細」から、「参加を依頼...」をタップして参加者を追加し、「完了」をタップします。参加者を削除するには、「共有アルバムの詳細」から参加者の名前を選択し、「参加者を削除」をタップします。同じ教育機関に所属していないユーザー(交流校や保護者)を招待するには、共有設定を変更する必要があるので、IT管理者に相談してください。

3. 共有アルバムに写真やビデオを追加する

サイドバーで共有アルバムを選択してから、右上の●>「写真を追加」の順にタップします。次に追加したい写真やビデオをすべて選択してから、「追加」をタップします。必要に応じてコメントをつけてから、「投稿」をタップします。参加者の投稿を許可しない場合、「共有アルバムの詳細」をタップして、「参加者による写真の追加が可能」のオプションを無効にします。

4. 共有アルバムに参加する

参加依頼を受信したら、「参加」をタップします。



設定で共有アルバムをオンにします。

フォルダやファイルを共有する

ファイルアプリを使うと、iPadやクラウド内のフォルダやファイルを簡単に整理し、共有できます。紙の資料をスキャンして一緒に整理することも可能です。iCloud Driveを使うには、教育機関側でiCloudの使用が許可されている必要があります。

1. iCloud Driveの設定を確認する

「設定」>「[自分の名前またはID]」>「iCloud」>「Drive」の順に選択して、「iCloud Drive」がオンになっているか確認します。その後「ファイル」をタップし、左側の「場所」の下に表示される「iCloud Drive」をタップします。

2. フォルダを作成する

フォルダにまとめておくと、ファイルが見つけやすくなります。「ファイル」の右上にある「+」をタップし、名前をつけると新規フォルダが作成されます。

3. 紙の資料をスキャンする

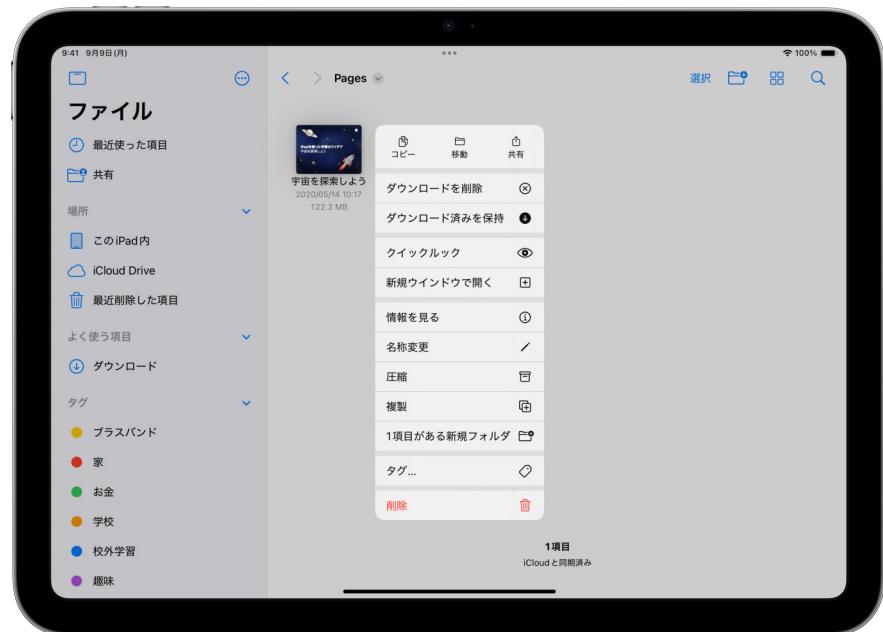
左上にある「書類」をタップしてから「書類をスキャン」をタップし、iPadの画面に資料が収まるように位置を合わせます。

4. ファイルやフォルダを整理、共有する

「ファイル」内の任意のファイルやフォルダを長押しし、名称変更、複製、移動、共有などのオプションを選びます。複数のファイルやフォルダを同時に指定するには、右上の「選択」をタップしてから、ファイルやフォルダを指定して、画面の下部に表示されるオプションをタップします（右図参照）。共有する場合は、AirDrop、メール、メッセージなどそれぞれの教育機関で許可されている共有方法を選択してください。

5. ファイルやフォルダを共同作業する

共有オプションから「参加依頼されたのみが編集できます。」をタップし、必要に応じてオプションを変更したあと、共有方法を選択します。

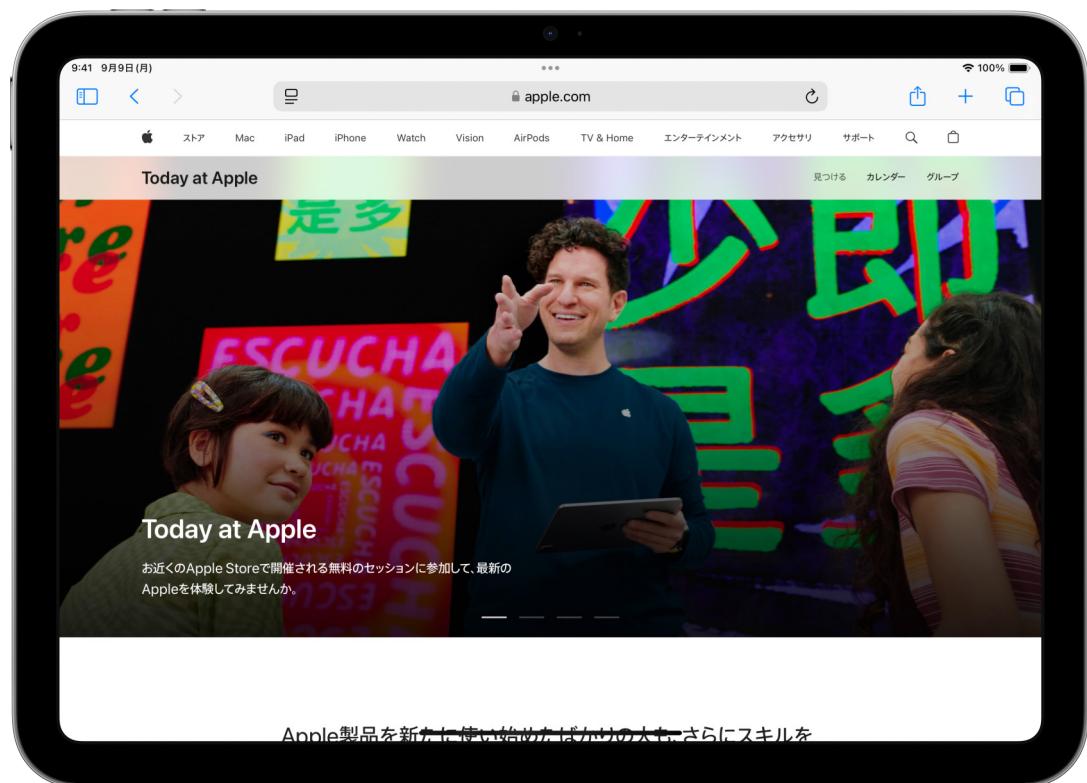


ファイルやフォルダを長押しするとオプションが表示されます。

5

iPadについて もっと知る

不具合が起こった時に対処する方法や、
さらに使いこなすための追加情報について
紹介します。



トラブルシューティング

画面が固まってしまったり、スリープ解除してもホーム画面が表示されない時は、まずiPadを再起動してみましょう。

1. 電源をオフにする

トップボタンと音量ボタンを同時に長押しすると「スライドで電源オフ」が表示されます。スライダを動かして電源をオフにします。「設定」 >「一般」>「システム終了」の順に選択してオフにすることもできます。

2. 強制的に再起動する

1を行ってもiPadが反応しない場合は、トップボタンに近い方の音量ボタン、トップボタンから離れた方の音量ボタンの順にそれぞれをしばらく押して、トップボタンをデバイスが再起動するまで押し続けます。それでも問題が解決しない場合は、IT管理者に相談してください。

3. アプリを終了して再度開く

特定のアプリが反応しない場合は、終了してから再度開いてみることで、問題が解決される場合があります。終了するには、画面下部から上にスワイプし、そのまましばらく指を放さず、Appスイッチャーが表示されたら放し、終了したいアプリを上にスワイプします(右図参照)。再度開くには、ホーム画面に移動して、そのアプリをタップします。再度開いても問題が解決しない場合は、iPadを再起動してみてください。



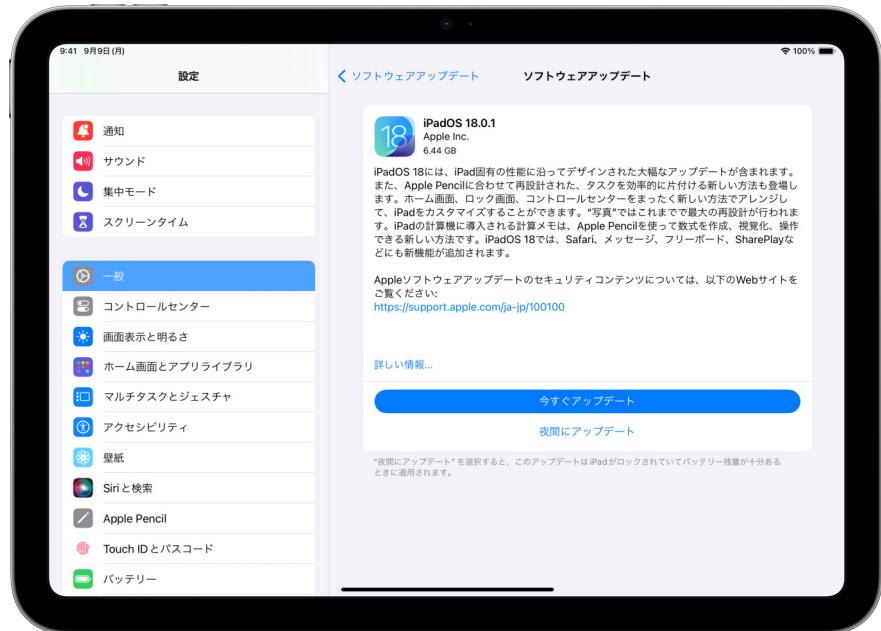
アプリを終了するには、Appスイッチャーを使います。

iPadOSのアップデート

共同作業がうまくいかない、アプリにバグがあるなどの問題は、OSをアップデートすることで解決することができます。また、ソフトウェアをアップデートすることで、最新の機能をより安全に使えるようになり、iPadがさらに進化します。指導の妨げにならないよう、アップデートの通知が届いたら、自宅や、学校で行う場合は放課後の時間を使ってアップデートを行いましょう。アップデートにはWi-Fi環境が必要です。

手動でアップデートする

ソフトウェアアップデートはいつでも確認およびインストールできます。「設定」◎>「一般」>「ソフトウェアアップデート」と選択すると、現在インストールされているiPadOSのバージョンと、アップデートが提供されているかどうかが表示されます。アップデートする場合は「今すぐアップデート」を選択してください(右図参照)。



この画面から手動でアップデートできます。

機能についてさらに詳しく

iPadについてもっと深く学びたい場合や、新しいOSでできることを確認したい場合は*iPadユーザガイド*を活用しましょう。例えば、以下のような内容を確認できます。

1. その他の内蔵アプリの使い方

- ・ブック：PDFや自作のデジタルブックを保存し、閲覧できます。
- ・カレンダー：予定を管理・共有したり、ファイルやリンクを追加できます。
- ・フリーBOARD：無限のキャンバスに書き込んだり様々なファイルを追加したりして、アイデアを形にできます。
- ・拡大鏡：周囲のものを拡大して見ることができます。
- ・マップ：目的地までの経路や都市の情報を調べることができます。
- ・計測：AR機能を使って、物の長さや高さを測ることができます。
- ・リマインダー：備忘録に日付や時間、場所を設定できます。
- ・ボイスメモ：音声を録音したり編集したりできます。
- ・天気：現在地や指定した場所の天気や気象データを確認できます。

2. Siri

作業の効率化に役立つ音声アシスタントです。翻訳する、アラームをセットする、天気を知らせるなど、様々なことを頼むことができます。

3. スクリーンタイム

自分のiPadの使用状況を確認したり、生徒の家庭でのiPadの使い方に保護者が関与できるようにします。

4. ウィジェット

ホーム画面やロック画面で、アプリを開くことなく天気、リマインダー、バッテリー残量など、最新の情報を一目で確認できます。



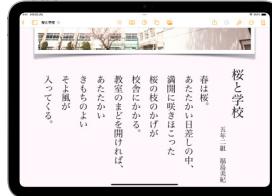
iPadユーザガイド

学びに役立つ無料のApple製アプリ

iPadには、生徒の興味や関心を高め、クリエイティビティを発揮するための、パワフルなアプリが多数用意されています。毎日の授業や課題すぐに活用できます。

Pages

魅力的な書類を作るためのパワフルなワードプロセッサです。美しいテンプレートを使って、学んだことをレポートやポスター、デジタルブックなどで表現できます。



Numbers

カラフルなグラフやイメージを入れて、美しいスプレッドシートを簡単に作成できます。データを視覚化したり、調べたことを整理したりするのにも役立ちます。



Keynote

写真やビデオ、手書きのイラスト、アニメーションなどを組み合わせて、学んだことをまとめたり、アイデアをわかりやすく伝えるプレゼンテーションを作ることができます。



GarageBand

楽譜が読めなくても、楽器が弾けなくても、誰でも簡単に音楽を演奏したり、オリジナルの曲を作ることができます。自分の声を使ってポッドキャストを作ることもできます。



iMovie

美しいテンプレートや、フィルタ、背景合成などの様々な機能を使って、魅力的なビデオを簡単に作成できます。学習のまとめや振り返りにも最適です。



Clips

写真やビデオを撮影し、カラフルなポスター、絵文字などを加えて、学んだことをいきいきと表現できます。作成したビデオの共有も簡単です。



Swift Playground

インタラクティブなパズルやチュートリアルを進めながら、本格的なプログラミング言語Swiftを使って、プログラミングの基礎やアプリの作り方を楽しく学ぶことができます。



Reality Composer

手軽に3Dオブジェクトを作成したり、ARを使って現実世界に重ねて表示したりできます。物事を様々な視点から観察し、理解を深めるのに役立ちます。



その他のサポート

Apple Education Community

Appleのテクノロジーを活用している教育者のみなさん向けに作られた、プロフェッショナルラーニングのためのスペースです。短い時間で学べる学習コンテンツからインスピレーションあふれる授業のアイデアまで、あらゆるスキルレベルの方に役立つリソースが用意されています。ほかの教育者のみなさんやAppleのエキスパートとつながりを築き、意見を交換したり、ストーリーを共有したりしながら、共に成長しましょう。[さらに詳しく >](#)

Today at Apple

Appleの直営店では、無料のセッションを体験することができます。Apple製品の使い方から、音楽、アート、プログラミングなどのクリエイティブなセッションまで様々なプログラムがあり、グループで申し込むことも可能です。[さらに詳しく >](#)

教育機関向け無料の専用ダイヤル

Appleでは、GIGAスクール構想にてiPadを導入された教育機関に所属されている教師、ICT支援員、教育委員会のみなさんのために、無料の専用ダイヤルを設置しています。Appleのスペシャリストが、iPadの操作方法やトラブルシューティング、内蔵アプリの使い方やアクセシビリティ機能の設定など、様々な質問に電話にてお答えします。

0120-679-350
月～金：9:00～18:00



Apple Education Community



© 2025 Apple Inc. All rights reserved. AirDrop, AirPlay, Apple, Apple Pencil, Apple TV, Appleのロゴ、AssistiveTouch, GarageBand, iMovie, iPad, iPadOS, iPhone, Keynote, Numbers, Pages, Reality Composer, Safari, Swift Playground, Touch IDは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。iCloud, iCloud Drive, Today at Appleは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。この資料に記載されている他の製品名および社名は、各社の商標である場合があります。製品仕様は予告なく変更される場合があります。この資料は情報提供のみを目的として提供されます。Appleはこの資料の使用に関する一切の責任を負いません。2025年3月